

令和3年度 茨城歯科専門学校 学校評価

公益社団法人茨城県歯科医師会立
茨城歯科専門学校
自己評価委員会
学校関係者評価委員会

公益社団法人茨城県歯科医師会立 茨城歯科専門学校 自己評価委員会ならびに関係者評価委員会は、令和3年度の学校評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

(令和4年6月9日)

1. 自己評価委員 (学内)

役職名	氏名	所属
委員長	大字 崇弘	茨城歯科専門学校 校長 (公社) 茨城県歯科医師会 副会長
副委員長	堤 浩一郎	茨城歯科専門学校 副校長 (公社) 茨城県歯科医師会 理事
〃	渡辺 進	茨城歯科専門学校 教務部長 (公社) 茨城県歯科医師会 専務理事
委員	小澤 永久	茨城歯科専門学校 教務副部長
〃	野口 知彦	〃
〃	小田倉 直也	歯科技工士科 教務主任
〃	菱沼 清美	歯科衛生士科 教務主任
〃	山田 肇	学務課 課長

2. 学校関係者評価委員（学外）

役職名	氏 名	所 属
委 員	横須賀 義章	茨城歯科専門学校 進路アドバイザー
〃	田 澤 重伸	（一社）水戸市歯科医師会 会長
〃	瀬 谷 公子	（公社）茨城県歯科技工士会 会長
〃	岩 村 昌子	（公社）茨城県歯科衛生士会 会長
〃	小河原 智美	歯科衛生士科同窓会 真珠会 会長
〃	高 橋 さゆり	歯科技工士科同窓会 みわ会 副会長

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.9	◎自らが学ぶ力を培い，臨床の場での応用力やコミュニケーション能力を発揮できる人材の育成を目的としている。	4.0	1 歯科医療の高度化や他職種連携の社会的要請にこたえ得る力を育成する学校運営を目指す。 2 HPや刊行物等を充実させ，学校運営や教育活動等を広報する。
②	社会の動向を踏まえニーズに沿った教育を行っているか	3.8	◎歯科技工士科においては，外部講師を招き CAD/CAM等の先端技術や特殊な技能を有する実習を取り入れている。	4.0	
③	学校の理念・教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.5	◎教育理念や教育目的を明確にし，教職員間で共有することで，今後更に保護者への周知と，理解を得られるよう努めていきたい。	3.5	

(2) 学校運営

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	◎本校は、公益社団法人茨城県歯科医師会を運営母体としており、「公益社団法人茨城県歯科医師会理事会定款」、「茨城歯科専門学校学則」等に基づき設置運営している。	4.0	
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6	◎教育大綱、学則並びに諸規則の制定・改廃についての事項は、「学校運営委員会」で協議し、予算・事業計画、決算・事業報告等の管理運営に関する事項と共に決議機関である「公益社団法人茨城県歯科医師会理事会」で審議決定される。	3.8	
③	組織体制について運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、有効に機能しているか	3.3	◎学科課程・授業計画・成績評価等の学生教育に関わる事項は、毎月行われる「教務打合会」で協議し、「講師会」で審議決定される。	3.7	
④	人事、給与に関する規程・コンプライアンス体制等は整備されているか	3.6	◎人事・給与に関しては、公益社団法人茨城県歯科医師会職員規程に定められている。	3.8	
⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.6	◎学校情報や教育活動については、ホームページ等を利用して随時公開している。	4.0	

令和2年6月より公開。

(3) 教育活動

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	評価項目		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8	<p>◎カリキュラムは、養成所指定規則に基づいた授業時間数を十分に確保し、学生が実技教育を理解しやすいよう、講義を先行して知識を学び、その後、実習を通して理解を深められるように編成している。遠隔授業の実施割合は全体の3割程度である。</p> <p>◎各授業科目の位置付けや進捗状況は、シラバスで適宜確認し、調整を行っている。</p> <p>◎臨地実習については、受け入れ機関に対し、コロナ禍での学校の状況と臨地実習の重要性をご理解いただき、学生のワクチンの接種状況とPCR検査・抗体検査等の結果を踏まえ、十分な打合せを行いながら実施した。また、実施が難しい臨地実習については校内演習で補っている。校内演習の実施割合は全体の3割程度である。</p> <p>◎臨地実習講師会を開催し、実習指導施設からの意見を参考とすることで、それぞれの施設の特徴を生かした実習を体験させ、実践力と応用力の習得を図っている。</p> <p>◎授業アンケートの実施によって、授業内容、学生の理解度の把握に努めている。</p> <p>◎今後、外部者・第三者による学校評価について整備を進めている。</p> <p>◎成績評価・単位認定に関しては、学生便覧の配付と説明によって規程を知らしめ、明確にしている。</p>	4.0	<p>1 外部評価・第三者評価表を整備する。</p> <p>2 授業アンケート結果の利用法について検討が必要である。</p> <p>3 GPA等の客観的な指標の設定。</p>
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8		4.0	
③	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫-開発などが実施されているか	3.6		3.7	
④	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等、外部による評価が行われているか	3.3		3.0	
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8		3.7	
⑥	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に示されているか	3.8		3.5	

⑦	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4	◎専門的知識・技術を有する教員を非常勤講師として歯科大学及び介護施設等から派遣いただいている。	3.8	教務研修を充実させ指導力向上を図る。
⑧	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.4	◎教員の研修については、歯科診療施設での臨床研修の実施と各研修会への参加を援助、推奨している。	3.7	

(4) 学習成果

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	明確な基準に基づいた実践能力 および学習能力を単位履修の認 定基準にしているか	3.9	<p>◎校内での基準に沿って実施している。</p> <p>◎職業教育であるため資格取得が前提であり国家試験合格100%を目指す。令和3年度の合格率は歯科技工士科では100%、歯科衛生士科は93.6%である。</p> <p>◎退学率の低減のために学業不振、欠席の多い学生に対しては担任による個別指導、保護者との緊密な連絡および学生と保護者を交えた面談の実施などを講じているが、今年度の歯科衛生士科1学年の5人の退学者は例年よりやや多い。</p> <p>◎就職率については、学生数を十分に上回る求人が寄せられており、就職希望者は、100%就業している。</p> <p>◎国家試験が不合格であった卒業生に対しては、自習室の開放および国家試験対策授業に参加させ、資料の配付、模擬試験等を実施し、資格取得を支援している。</p> <p>◎卒業後の社会的な評価及びキャリア形成などの把握は、一部の卒業生に限られる。</p>	3.8	<p>1 両科とも国家試験全員合格を目指す。</p> <p>2 個別面談・保護者面談等を十分に行い、個に応じた指導を徹底する。</p> <p>3 次年度より指定校・公募推薦で入学してきた学生が退学した場合は、出身高校に対して退学理由等を報告する。</p> <p>4 在宅の資格保有者の把握と復職支援に努める。</p>
②	資格取得率の向上が図られているか	3.6		3.7	
③	退学率の低減が図られているか	2.5		2.8	
④	就職率の向上が図られているか	3.8		3.8	
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1		3.2	

(5) 学生支援

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	<p>◎就職に関する支援体制は、担任による進路相談や無料職業紹介事業の職業紹介業務運営に基づき、就職指導担当者が就職希望地域やキャリア形成のための助言を行うなど個々の状況に応じた支援を行っている。</p> <p>◎学生の就職意識を高めるため、ハローワーク就職支援ナビゲーターを招いての就職セミナーを7月に実施。また、事業所が一同に求人プレゼンを行う就職ガイダンスを8月と3月の2回実施した。</p>	4.0	従来からの日本学生支援機構や自治体の奨学金制度の案内を行うとともに、「高等教育の修学支援新制度」を周知させる。
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6	◎学生の相談に関しては、入学時または定期的に担任が学生に対し個別面談・ヒアリングを実施し、日常においても担任が窓口となり相談しやすい環境を提供している。	3.8	
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.9	<p>◎高等教育修学支援制度の対象校に認定され、専門実践教育訓練給付制度やその他の奨学金制度と共に新入生・在学生に周知することで、学費負担の軽減を図っている。</p> <p>◎学業、人物ともに優秀な学生に対し、勉学奨励を目的として、褒賞金を支給している。</p>	3.8	

④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4	<p>◎学生の健康管理については、毎年の健康診断と歯科検診の実施および近隣の総合病院との提携により、学生の健康状態の把握と疾病への迅速な対応を行っている。また、インフルエンザ予防接種に係る補助金を支給している。</p> <p>◎新型コロナワクチン予防接種を希望する学生と教職員に対し、6月～8月の期間に1回目と2回目の接種を校内に於いて実施した。これにより臨地実習等の外部実習を進めることが可能となった。</p>	3.8	
⑤	保護者と適切に連携しているか	3.6	<p>◎保護者会の開催、「学校だより」の送付により、保者とのコミュニケーションを図るとともに、学校教育活動情報を伝えている。コロナ禍で式典は規模を縮小し実施した。学校長訓話、戴帽式、卒業式を学生と保護者に向け、Web上でライブ配信した。</p>	3.8	
⑥	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.3	<p>◎高等学校からのインターンシップや、高校生の職業体験プログラムを実施している。</p>	3.3	

(6) 教育環境

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるようになっているか	3.9	<p>◎施設・設備・教具は、より良い教育環境の中で学習できるよう計画的に整備しているが、今後遠隔授業を効率的に取り入れていくために教具とネット環境の整備が必要である。今年度は一部 Wi-Fi 環境の整備を行った。</p> <p>◎校外実習等に関する実施要項・マニュアル等を作成し、成績評価基準を明確に定めている。</p> <p>◎大規模災害や火災に備え、消防・避難訓練を年1回実施、災害対策マニュアル、非常用備蓄品、緊急連絡網（教員・学生）を整備し、必要に応じて見直しを行っている。防火管理責任者も配備、消防施設点検も年2回行っている。</p>	3.8	1 図書室の環境整備を行い、より活用し易くする。
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.0		3.0	2 歯科技工士科施設のバリアフリー工事を行った。
③	防災、安全管理に対する体制は整備されているか	3.6		3.7	3 施設整備について、安全点検を実施し、状況の把握に努める。

(7) 学生の受入れ募集

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	◎学生募集活動は、養成所指定規則，養成所指導ガイドライン，学則，個人情報保護法の遵守ならびに文部科学省からの各種法令・通知を守り適切に行っている。	3.8	高校訪問において、各奨学金制度の予約採用の案内を行い、学費負担の軽減をアドバイスする。
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5	◎教育成果の伝達については、パンフレットやホームページ，その他広報媒体を通じ，出来るだけ多くの情報が客観的に分かりやすく伝わるよう努力している。 ◎今年度はホームページをリニューアル（学校案内動画を掲載）した。また，いばらき専門カレッジリーグ（県内6校）創立10周年を記念して，6月30日，茨城新聞に学校紹介広告を掲載した。	3.8	
③	学納金は妥当なものとなっているか	3.8	◎学納金に関してはできるだけ無駄を省き，徴収した入学金，授業料，実習費が学生個々へ効率的に還元できるよう常に努力している。	3.8	

(8) 財務

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.0	◎歯科技工士科への入学生が大幅に減少していることにより、財政基盤はやや不安定になってきている。そのため、学生募集活動の充実・退学者の低減・支出等の見直しを行い、財政基盤の安定化に努める必要がある。	3.2	1 定員の充足を目指し、学校経営の安定化を図る。 2 日常的な経費節減を行い、各事業予算の適正化を検討する。
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5	◎予算については、担当各部署が次年度に必要な物品等の要望を事務局に提出し、事務局が集約して担当役員の決裁を仰ぐ。担当役員は、内容を精査した上で、理事会に最終予算案を提出し、決議を経て次年度予算は執行される。	3.5	
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	◎財務については、公益法人会計基準に則り、公認会計士の指導の下に適正な運用を行っている。定例監査は本会監査規程により年4回とし、毎年6月の定時代議員会において監査報告を行っている。	4.0	
④	財務情報公開の体制整備はできているか	3.9	◎財務情報の公開については、公益認定法に基づき情報開示を行うこととし、本会ホームページに財務諸表等を掲載することで、常時閲覧が可能な体制を整えている。	4.0	

(9) 法令等の遵守

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	法令，専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	◎専修学校設置基準及び養成所指定規則，その他法令等を遵守し，適正に運営している。また，申請，届出についても所管先に遅滞なく行っている。	4.0	公開情報として保護者や一般への周知をする。
②	個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか	3.9	◎全ての役員，教職員，講師が個人情報に関する法規範を遵守し，個人情報保護に関する基本理念を実践するために，公益社団法人茨城県歯科医師会として個人情報保護規程を定めている。	3.7	
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6	◎学生については，入学時に「個人情報に関する誓約書」の提出を求めている。また，特に臨地実習を実施するにあたっては，事前に個人情報の取り扱いについて十分注意するよう指導している。	3.5	
④	自己評価結果を公開しているか	3.8	◎自己評価については，専修学校における学校評価ガイドラインをベースに，自己点検・自己評価を実施し，ホームページでの公表を準備している。	3.7	